講義名	スポーツ科学演習Ａ(バドミントン・卓球)					授業形態	
担当教員	西畑　賢治	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	SP0130

主題と概要

平均寿命の高まりとともに，健康志向が強まっている。レクリエーション・スポーツ等の多くの種目を学ぶことで，スポーツの機会に触れ，生涯スポーツとして資することを目的とし，また将来にわたって健康に生きる力を身につけることを目的とする。そのためにも，ルールをしっかりと学び，自らの手で運営できるよう主体的に行動すること。さらには，生涯スポーツとして，男女問わず学生同士が楽しく参加できる機会をしっかりと考え，楽しさを覚えることでその種目を深く知るきっかけを作り出すことを目的とする。
　本科目は，集団行動を伴うものであり，他者との意見の違いや立場の違いを理解し，協力して物事を進めると同時に，自らの役割を果たす必要がある。また，実践学習へ取り組むにあたり，自ら目標を設定し，達成できるようにできるようにする。そのためには，様々な情報を収集したり，周囲と協力をしたりすることなどが求められる。そして，生じた課題に対して，その原因を分析し，どのような手段を用いれば解決できるのかを考え，それに向けて行動できるようにする。

到達目標

１．「健康」獲得の方法を修得できるようになる。
２．歴史やルール，基礎技術を理解し，説明できるようになる。
３．基礎技術を修得し，生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

提出課題

必要な場合のみ，課題の提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

それぞれの課題に対して，講義で講評・解説等を行う。

評価の基準

※授業実施時間数の4回以上欠席した者は単位を認定しない。
※授業中の評価：授業態度・実技点など・・・・・・・・・80%
※期末期の評価：レポート課題・・・・・・・・・・・・20%

履修にあたっての注意・助言他

初回ガイダンス時の説明は重要です。
スライドを用いての説明の為，欠席されると初回以後の説明は出来ませんので履修する学生は必ず参加してください。
また，スポーツが苦手な者も楽しんで講義に参加し，体力の維持向上に関心を持って頂きたい。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.使用しない.				

その他

必要に応じ，適宜配布する。

授業計画

※履修者数やグループ数・メンバー数に応じる為，下記は一例となります。

第１回 ガイダンス
　予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に掲示する講義資料
　を見たうえで，自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120 分）
　復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

～バドミントン～
第２回コート設営に必要な道具の準備手順及び片付け手順，注意事項
　予習内容：バドミントンの基礎知識や基本技術について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第３回ルールと運動特性を学び、ラケット操作に慣れる
　予習内容：バドミントンのルールについて参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第４回シングルスの基本的な技術を習得しゲームにつなげる
　予習内容：シングルスゲームの進め方について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第５回シングルスゲームとその運営方法を理解し実践する
　予習内容：シングルスゲームの運営方法について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第６回ダブルスの基本的な技術を習得しゲームにつなげる
　予習内容：ダブルスの基本的な技術について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第７回ダブルスゲームとその運営方法を理解し実践する
　予習内容：シングルスゲームの運営方法について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）

第８回 中間講義
　予習内容：実技を通じて学んだバドミントンの内容をよく理解しておくこと（１２０分）
　復習内容：後半実施する卓球について調べておくこと（１２０分）

～卓球～
第9回 コート設営に必要な道具の準備手順及び片付け手順，注意事項
　予習内容：卓球の基礎知識や基本技術について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第10回 ルールと運動特性を学び、ラケット操作に慣れる
　予習内容：卓球のルールについて参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第11回 シングルスの基本的な技術を習得しゲームにつなげる
　予習内容：シングルスゲームの進め方について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第12回 シングルスゲームとその運営方法を理解し実践する
　予習内容：シングルスゲームの運営方法について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第13回 ダブルスの基本的な技術を習得しゲームにつなげる
　予習内容：ダブルスの基本的な技術について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）
第14回 ダブルスゲームとその運営方法を理解し実践する
　予習内容：ダブルスゲームの運営方法について参考になる資料を調べて予習しておくこと（１２０分）
　復習内容：授業の中で学んだ内容を実践しておくこと（１２０分）

第15回 最終講義
　予習内容：バドミントン、卓球の実技を通じて学んだ内容をよく理解しておくこと（１２０分）
　復習内容：バドミントン、卓球について今後プレー出来るようにすること（１２０分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目を受講し，目標を達成することで，本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の５項目および，健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。
集団や個人でスポーツ実践へ取り組む中で，明るく元気で，どのような場所でも物怖じすることなく，誰とでもしっかり言葉を交わすことができ，逆境でもたくましく生き抜く力。つまり「ネアカ　のびのび　へこたれず」の精神を育むことができる。また，問題点やその要因を発見し，自らが進んで取り組めるようになる。そして，他者に働きかけ，協力して課題へ取り組むことにより，円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。
生涯にわたってスポーツと関わったり，健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て，理解することができる。
以上は，全学部・学科の所属学生へ共通している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考